

# 平成30年度予算見積調書

課室名：エコタウン環境課  
 担当名：創エネルギー推進担当  
 内線：3004 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B21	水素社会を身近に感じる社会づくり事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	低炭素分散型エネルギー社会構築事業費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	エネルギー政策基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律・地球温暖化対策推進条例		宣言項目	10	新たなエネルギー社会の構築		
					分野施策	051142	環境に優しい社会づくり		
1 事業概要			5 事業説明						
本格的な水素社会の到来を誰もが実感できるよう、燃料電池の導入や普及啓発活動を推進する。 (1) 車載式燃料電池導入費 7,082千円 (2) 水素エネルギー普及啓発費 4,896千円 (3) 普及推進協議会運営費 107千円			(1) 事業内容 ア 車載式燃料電池導入費 純水素燃料電池（リース品）の運用 7,082千円 イ 水素エネルギー普及啓発費 大規模展示会への出展 4,896千円 ウ 普及推進協議会運営費 水素エネルギー普及推進協議会に係る委員謝金、会場使用料等 107千円 (2) 事業計画 平成26年度 水素エネルギー普及推進協議会の創設 平成28年度 サプライチェーン構築可能性調査、下水汚泥利活用の実証、燃料電池補助制度創設 平成29年度 車載式燃料電池活用、普及啓発事業の拡充 平成31～32年度 大規模イベントにおける水素エネルギーの利活用 (3) 事業効果 ア 先進技術を具現化し、水素社会の到来を広く発信 イ 燃料電池の整備によるCO2排出量の削減 (4) 変更点 分散型エネルギー利活用設備整備費補助（燃料電池）を別事業に分割						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税（包括算定経費） (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細節) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円									
予算額			財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
決定額	12,085							12,085	△6,641
前年額	18,726							18,726	